

政務活動報告書

議員名 土田 百合子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望	
実 施 日	平成 31年 1月 25日 (金) 午前・午後 13時～ 平成 年 月 日 () 午前・午後 17時	
場 所	衆議院第2議員会館	
主 催 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他 ()	
同 行 者 名	無	
行 程 及 び 経 費	行 程 (交通機関、算定根拠、人数按分など)	経 費 (単位: 円)
	JR宿泊パック 横手～東京	26,200
実 施 概 要 と 所 感	国では、10月の消費税率10%への引き上げに伴う反動減対策として①プレミアム付き商品券事業②クレジットカードなどのキャッシュレス手段による買い物に対するポイント還元事業、さらに、③マイナンバーカードを活用した消費活性化策、「マイキープラットフォーム構想」を示している。一般質問で市の取り組みについて伺うことができ、プレミアム付き商品券事業については、対象者の拡大について提案をすることができた。また、クレジットカードなどのキャッシュレス手段による買い物に対するポイント還元事業については、商工団体、金融機関等と連携し対応すること。マイキープラットフォーム構想については、引き続き国や、他自治体の動向、情報収集を行うとの答弁であった。消費税引き上げに伴う経済対策がしっかり行われるようにチェック機能を果たしていきたい。	

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2（往復）でご記入ください。 距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。

政務活動報告書

議員名 土田 百合子

実施した政務活動の内容	<input checked="" type="checkbox"/> 研修 <input type="checkbox"/> 視察・調査 <input type="checkbox"/> 陳情・要望																		
実 施 日	平成 31年 2月 20日(月) 午前・午後 13時30分～ 平成 年 月 日() 午前・午後 15時																		
場 所	秋田県庁																		
主 催 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 会派 <input type="checkbox"/> その他()																		
同 行 者 名	無																		
行程及び経費	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行 程 (交通機関、算定根拠、人数按分など)</th> <th>経 費 (単位:円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自家用車 高速代</td> <td>2,200</td> </tr> <tr> <td>ガソリン代(ガソリン換算表から)</td> <td>2,590</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>経費合計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4,790</td> </tr> </tbody> </table>	行 程 (交通機関、算定根拠、人数按分など)	経 費 (単位:円)	自家用車 高速代	2,200	ガソリン代(ガソリン換算表から)	2,590										経費合計		4,790
行 程 (交通機関、算定根拠、人数按分など)	経 費 (単位:円)																		
自家用車 高速代	2,200																		
ガソリン代(ガソリン換算表から)	2,590																		
	経費合計																		
	4,790																		
実施概要と所感	子育て世代包括支援センターの設置について、秋田県あきた未来創造部次世代・女性活躍支援課子育て支援班担当より、県内の「子育て世代支援センターの設置」状況を伺った所、県内では6市が取り組んでおり、当市でも妊娠から育児までの切れ目ないワンストップの相談体制の必要性を感じた。3月議会の一般質問で取り上げ、平成32年度までに設置するとの市長答弁をいただくことができた。質問項目は次の通り、①子育て世代支援センターの目的や役割、情報発信について。②妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない支援体制仮称「よこてネウボラ」について。③主な役割として未就学児の保育・幼稚園の利用相談にワンストップでの対応や、地域の子育て支援団体と連携を図り、出張相談にも取り組むなど、「子育てコンシュルジュ」の配置の考え方について。																		

※同じ項目がある場合は他の様式でも可とします。

※政党が主催する活動や研修セミナー、陳情は政務活動対象外となります。

※実施した内容がわかる資料、領収書、要望書等を添付してください。

※自家用車使用のガソリン換算方法を統一するため、同一箇所の往復の場合は、片道距離から換算した額×2(往復)でご記入ください。 距離につきましては、実測いただくか距離検索サイトでお調べください。